

さなぎ

本橋龍

①年越し

♀ミズエ ジロウの彼女。南方の国にワーホリ中。

♀チナツ ミズエがワーホリ先で出会った友達。

♀ハナ ミズエとチナツと同じ寮にいたアジア系の異国人。

♂父 テツとジロウの父。離婚している。

♀フウカ 父の彼女。一緒に暮らしている。

♂テツ ジロウの兄。勤めている。

♂ジロウ ミズエの彼氏。フリーター。

②客入れ

舞台には幾つかのエリアが混在している。明確なエリア分けは無く

レイヤーが重なっているイメージ。映像を投影できる部分がある。

大晦日。ジロウは久しぶりに帰省したのだが、家には入らず自転車を引いて近所をうろろしている。

テツがリビングのソファで寝てる。テレビが付きっぱなしになっている。フウカの食器を洗う音が聞こえる。キッチンが見えてもいい。

ミズエは南方の国の、外国人向けの寮にいる。友達チナツと談話室で雑談したりダラダラしている。

舞台の中央にハナが白い毛布を被って座っている。繭の様に見える。

チナツ、大きく伸びをする。

チナツ 後3分

ミズエ お、

チナツ やー、終わっちゃうねえ

ミズエ あー、そうだねえ、

チナツ …そして、始まりますねえ、…謎センチメンタル

ミズエ あー

チナツ …やー、今年がんばった、うん、がんばったね、

ミズエ うん、頑張った、

チナツ …どうする？なんかする？

ミズエ なんか、

リビングに父が来る。

父 (テツに) おい、起きなさい、お前本当日中寝てんな、

テツ …、(起きる)

父 …ぐだぐだぐだぐだ、ちよつとはなんか手伝えよ、帰ってきて

んだから、

テツ 帰ったときくらいぐだぐださせてくれよ、

父 俺はずっと働いてるのに、こんな日まで、悲しくなるよ。

テツ …、

父、テレビのチャンネルを変えて眺める。

父 …何やってんのジロウは

テツ ……(キッチンの方に) あ、なんか手伝います？俺、

フウカ (声) あ、大丈夫です

テツ あ、

間

テツ ちょっとコンビニ

父 ……あじやあ緑のためき買ってきて

テツ あ、はい、

父 (財布から千円出して) ン

テツ いいよ、

父 ……あじやあライカも連れてって。散歩まだだから、

テツ はい

テツ、去る。父、ソファに座りテレビを見る。

チナツ (スマートフォン(以降スマホ)を見て) 後一分。

ミズエ わ、

チナツ ……ジャンプする？

ミズエ え、ジャンプするの？

チナツ カウントダウンしてゼロの時、

ミズエ あ、ゼロで、

チナツ じゃだめだ、浮いて越したいから、飛び越すって感じだから、

ゼロのちよつと前だ、

ミズエ 難し、

チナツ だから3、2、1でジャンプだ、イチの言い切りでジャンプ、

イチ、(ジャンプのふり) ってことね、

ミズエ ……いち、(あんま理解してない)

チナツ で、一秒は滑空しててね、それくらいのジャンプね、

ミズエ 滑空、

間

チナツ あ、きますきます、

ミズエとチナツ、スマホを見ながら十秒前からカウントダウンする。ジロウもスマホを見ながらカウントする。

カウント1の時、チナツとミズエはジャンプする。

外から幾つもの汽笛の音が鳴り響く。チナツとミズエ、外を見る。

チナツ 船？

ミズエ ああ、

チナツ ……びっくりしたあ、

ジロウ、ミズエにLINE(メッセージのやり取りができるコミュニケーションアプリ。以降「ライン」と表記)を送る。ミズエのスマホに通知が来て、それを見る。

ラインの内容がテロップで投影される。

テロップ「ジロウ…明けましておめでとございます！こっちも直ぐ追いつきます、」

音楽が流れる。

ジロウ (独白) 今、彼女にラインを送りました。彼女のいる島は僕の現在地から言って約1万キロ離れてるらしい。それでも送ったラインは直ぐに既読がついた。彼女のいる島とここからだとき差があつて。彼女のいる島の方が時間が4時間早い。

ミズエ、ラインの返事を送る。

テロップ「ミズエ…お先！」

「ミズエ…チナつちゃんとジャンプして年を跨いだよ笑」

「ジロウ…笑」

「ジロウ…めっちゃ昔家族でやった記憶がある…」
「ミズエ…そうなんだ笑」

「ジロウ…僕はいま月をみます。」

「ミズエ…こつちも見えるよ。すごく丸い！」

ジロウ、タバコを吸う。

チナツ あ、花火

ミズエ おー、

ハナ、毛布から出てきてチナツとミズエに並んで外を見る。
タイトルが映る。

② 異人

次の科白の途中で音楽はフェードアウトする。

(【↑の中はただどどしい英語である])

ミズエ … (ハナに) ハッピーニューイヤー

ハナ 【私の国では正月は2月なんです】

ミズエ …アー、

チナツ …、

ハナ、 (伝わってないのに気づき、もう一度言う)

ミズエ (解ったふりをする) あー、イエス、

チナツ え、なんて？

ミズエ え、わかんない、

チナツ …、

チナツ、スマホの翻訳機能を起動する。

父 (洗い物に対して) あ、サンキュー、

フウカ うん

父 …仕事納めです

フウカ あ、お疲れ様です、

父 …はあ、まいったな、

フウカ …ジロウくんは？

父 まだ、

フウカ …

父 すいませんなんか、

フウカ いやいや、

父 … (腰を伸ばす)

フウカ …揉もうか？

父 え？ああ、いい？

フウカ うん、寝て

父、床に寝つ転がる。フウカ、跨って揉む。

父 いいね、

フウカ このへん？

父 うん、

スマホをハナの口に近づける。

チナツ ワンモア、

ハナ、 (言う。スマホが翻訳する。が、正しく翻訳されない)

チナツ ん？ (間違った翻訳から意味を読み取ろうとする)

ミズエ あー、

ハナ … (カタコト目の日本語でしゃべりだす) わたしのくには、

ハッピーニューイヤー、にがつになります

ミズエ …、あ、

チナツ あ、日本語、喋れるんですね、
ハナ ちよこつと、

チナツ や、凄い、上手です、
ミズエ うん、本当、

ハナ ありがとうございます
チナツ えーすごーい、

ミズエ ハッピーニューイヤーが、二月、なんですか？

ハナ …あ、はい
ミズエ へー、

チナツ (ミズエに) え、二月から一年が始まるってこと？

ミズエ 、、うん、

チナツ そんなあるんだ、

ハナ、窓から外を見ている。

チナツ あ、旧正月ってやつかな、

ミズエ あ、あるんだそういうの、

チナツ あんまよく知らないけど、

二人もなんとなく窓の方を見る。

リビングにフウカが来る。

テツ、ジロウの所に来る。緑のためきが入ったコンビニ袋と犬用のリードを引いている。リードの先には首輪と鈴がついていて、それを引きずっている。犬が繋がっているというていで演技を行う。

テツ (ジロウに気づいて) おーいた！

ジロウ あー、

テツ (笑) なにやってんの、びっくりしたあ、久しぶりい、

ジロウ お久しぶりです、

テツ ライカ(犬の名前)、ライカ、ほら、ジロウだよ、

ジロウ ライカー、

間

テツ 、、めっちゃ尻尾下げてるやん(笑) 忘れた？ジロウのこと、
忘れたか、忘れられてやんの(笑)

ジロウ まじかあ、ショックだなあ、ライカ、俺だよ、

テツ …(タバコに火を付けながら) 何してたん…太った？

ジロウ 太った

テツ ねえ、やー、…(笑) こんな、公園のベンチにいんだもん、

ジロウ (笑) 、、やちよつと連絡してて

テツ 彼女？

ジロウ まあ、

テツ ういー、…何、上手くいってんの？

ジロウ まあ普通、

テツ 普通って(笑)、普通ってなんだよ、

ジロウ …マユミさん来てるん？

テツ や、なんか寝こんじゃって。風邪ひいてやがんの、昨日向
こうの実家行ってたから置いてきたそのまま、

ジロウ …兄ちゃんは偉いよ、

テツ 、、や、普通よ、マジで、

ジロウ や、凄いよ、偉い、

テツ …まあジロウはもうちよつと頑張んなきゃですね、

ジロウ 本当ね、

テツ まず痩せないさい、もうちよつと、

ジロウ (笑)

父 ちよつと、踏んでもらっていい？

フウカ 、、踏む？

父 うん、あの、中国の、あれ、

フウカ 、、(立って片足で踏む) えこう？

父 うん、乗っちゃって、完全に、

フウカ (笑)、(乗っかり足踏みする)

父 あーいいね、

フウカ え、重くない？

父 ちょうどいい、

ミズエ …(ハナに) あ、ミズエ、っていいです、

ハナ あ、ミズエ、(自分を指して) ハナです

ミズエ あ、ハナ、

チナツ チナツです、

ハナ チナツ、

チナツ イエスイエス、え、日本に行ったことあるんですか

ハナ は、ないです、

チナツ あ、

ハナ ママがにほんじんです

チナツ あ、それで、日本語

ハナ そうです、でも、ちよとだけ

チナツ えーでも全然、

ミズエ うん

ハナ ……あのねえどんなにじょうずなべんかいをしてもねべんかいはやっぱりべんかいなんだよなあ

間

ハナ …みつを

チナツ 、、あ、みつをの、

ミズエ あー、

ハナ ひとのためとかいていつわりとよむんだねえ、みつを

ミズエ ……凄いい、良言葉だ、

チナツ うん、、良言葉ー、

ハナ あのねがんばらなくてもいいからさぐたいてきにうごくことだね、みつを

ミズエ …、正論だね、正論

チナツ 好きなんですか？

ハナ すき、、あ、トイレに、ありました

チナツ あー、

ミズエ お母さんが、あれだったのかな、

ハナ …日本語は、ハッピーニューイヤー、は、なんですか？

チナツ あ、明けて、おめでとございます

ハナ 、、？あけて、あけました？、(何かを開けるジェスチャー)

チナツ あ、…えー、ニューイヤー、(箱状のニューイヤーが開くジェスチャー)、、パカー、

ハナ あー、あけて、(納得する) …おめでとございます、

チナツ イエスイエス、明けておめでとございます(お辞儀する)

ハナ 、(真似てやる)

二人 (お辞儀を返す)

ハナ …(花火を指さして) あの、ファイヤーワークス、は、なん

ていいますか

チナツ …あ、花火、

ハナ はなび、

ミズエ (マイムとかしながら) 花、フラワ―

チナツ フラワ―

ハナ あー、はなび、

テツ そろそろ行こうよ、

ジロウ あ、うん、

テツ ……フウカさんって初めてだった、

ジロウ うん、そう。

テツ ふーん

テツとジロウ、家に向かう。舞台の外周を歩き回る。

チナツ (ミズエに) 行く? ぼちぼち

ミズエ あ、そうね、…… (ハナを) 誘ってみる?

チナツ あー、そうする?

ミズエ え、いい?

チナツ いいよ、そうしよっか、

ミズエ …… あ、ハナさん、あのー、私たち、これから、ドライブに行くんだけど、

ハナ どらいぶ?

ミズエ あー、(マイム) ぶーん、

ハナ オー、ドライブ、

ミズエ あ、そうそう、

ハナ オー

ミズエ 良かったら一緒に行きませんか?

ハナ 、、

ミズエ 、、 (三人を指して) ドライブ、(行こうのマイム)

ハナ あー、ドライブ、どこ?

チナツ 日の出って、解る?

ハナ 日の出、

チナツ あー、

ミズエ 、、 サンライズ、

チナツ サンライズ!

ハナ サンライズ!

チナツ イェス、あー、ファーストサンライズ、ニューイヤー、

ハナ あー、わかりました、とてまたのしそうです

ミズエ …… 行きませんか?

ハナ いってもいいのですか?

ミズエ オーケー、あのー、嫌じゃなければ、

ハナ …… では、いきます

ミズエ おー、やったー

ハナ (マネ) やったー

チナツ …… じゃあ、行こうか、

ミズエ うん、

チナツ ゴー

ハナ ゴー

三人、去る。

③ 帰郷

テツとジロウ、歩いている。

テツ あのー、ミズエちゃんと来て以来? 帰んの、

ジロウ あ、うん、

テツ ふーん、… いいなあ、俺も海外行って、パーっと、一年くらい、

ジロウ 行ってくれば

テツ ねえ、仕事辞めて、パーっと、… まあ無理なんですけど、

ジロウ …… 無理ってことはないんじゃない? ただ場所移るだけだよ

テツ いやいや、… こちらら体中見えない鎖で雁字搦めですから、

テツ、立ち止まり引きずってる首輪を見る。ジロウも見る。テツ、リードを振動させて犬が排便するように見せる。

テツ …… (ビニール袋をジロウに渡す) ん

ジロウ ああ、

ジロウ、犬の糞を袋で回収する。

テツ ゆるくない？（袋を受け取る）
ジロウ え？多分、

二人、再び歩き出す。

父 ……もう大丈夫、

フウカ あ、はい、（降りる）

父 ありがと、

フウカ ……

父 ……（起きて）明日兄貴んとこ行くんだけどさ、フウカさんどうしよっか、

父、キッチンから缶ビールを持ってきて飲む。

フウカ あー、行った方がいいなら、

父 ……、どうなんだろ、まあとちでもいいけどなあ、

フウカ ……、え、行くんならなんか、持ってたほうがいいかな、

父 何を？

フウカ ……おせちとか、

父 なんで？

フウカ ……、え、持って行かない？普通、

父 ああ、まあそうか、おせち作れんの？

フウカ カンニングすれば、

父 カンニング？

フウカ クックパッド見れば、

父 何それ、

フウカ ネットの、

父 ああ、…まあ別にいいでしょでも、

フウカ 本当？

父 多分、

テツとジロウ、玄関の前に着く。ジロウ、自転車を止める。

テツ 先入ってて、ライカおしっこさせるから、

ジロウ ああ、

テツ、タバコを吸いながらうろろろする。ジロウもなんとなく付いていく。

テツ （何故かついてくるジロウを見て）…、

ジロウ ……、ライカ、ライカ、

テツ ……、先入ってて、奥さんに電話するから、

ジロウ ああ、

テツ、去る。

ジロウ、迷った末玄関のチャイムを鳴らす。

フウカ あ、出る？

父 行く行く、

父、玄関に行き、開ける。

父 ……、あ、なんだよ、

ジロウ あ、お久しぶりでーす、

父 （フウカに）誰かと思ったら、

父、リビングに戻る。

ジロウ ……お邪魔しまーす、

ジロウ、中に入り、洗面所に行く。(二度ハケる)

父 (フウカに) ジロウ

フウカ あ、

父 …(ジロウがついてきてないのに気づき) あれ?、ああ、

少しして、ジロウがリビングに入ってくる。

ジロウ …、

フウカ (ジロウに気づいて)、あ、どうも、

ジロウ あ、

フウカ お邪魔してますー、

父 (ジロウに) フウカさん、

フウカ 初めまして、

ジロウ あ、どうも、

フウカ …、すいませんなんか、

ジロウ え、いえ、

フウカ …、

ジロウ …、

父 テツに会った?

ジロウ あ、なんか、電話するって、

父 え?

ジロウ あ、なんか、電話するからって、その辺

父 あそう、…元氣?

ジロウ あ、うん、

父 あそう、

ジロウ …

父、テレビを見つめる。ジロウ、とりあえず座ってテレビを見る。
フウカ、何となく立っている。

フウカ (ジロウに) あ、ご飯食べました?

ジロウ …

フウカ …、あ、ジロウさん、

ジロウ …あ、食べました、

フウカ あ、

間

フウカ …あ、ミズエ元氣ですか

ジロウ あ、元氣そう、ですよ、

フウカ あ、そうなんです、

父 ……タバコやめるーお前、

ジロウ あ、うん、

父 (フウカに) 入ってきた瞬間解るもん、においが、

フウカ …、えー全然解んなかった、

チナツとハナとミズエが夜道を歩いている。

ハナ (空を指さして) ほし

ミズエとチナツ おー

チナツ そうそう、てか星めちやくちや綺麗だね

ミズエ ね、凄、

ハナ つき

ミズエ まんげつ

ハナ まんげつ?

ミズエ あ、まるい、月、

ハナ アー、(指さして) オリオン?

ミズエ …、あ、そうそう、オリオン、

チナツ オリオン座。

ハナ オリオン、ぎ?、…、THE、オリオン、

チナツ オリオン、座。

ハナ、（首振る）THE、ズイ、
チナツ 座

ハナ、（舌の動きを見せて）ズイ、ズイ

チナツ 座

ミズエ …あ！天の川ー、

ハナ あまのがわ、

ミズエ あのー、星の、川、リバー、

ハナ アー、ミルキーウェイ

ミズエ あ、そうそう、

ハナ （ミズエのマネ）あまのがわー、あまのがわー、

ハナが何かを指さし、チナツとミズエがその日本語を教える。
それらは三人のいる場所の物なのだけど、段々と現実の物（演劇の外）との境目はなくなる。

④家庭

兄が帰ってくる。玄関近くにある犬用のベットに首輪を置き、リードを外す。トイレに糞を流す。

リビングに来る。テーブルの上にコンビニ袋を置く。

父 （兄に、ニヤつきながら）マユミちゃん寂しいって？

兄 …（父のビール見て）俺も飲む。（キッチンへ）

父 お、じゃあ皆で飲むか、ジロウちゃんも飲む？

ジロウ ああ、

フウカ （コンビニ袋の中の緑のためき見て）あ、年越しそば？

父 そう、うち昔から、テッー、お湯も沸かして

ジロウもなんとなくキッチンへ。

父、緑のためきを開封していく。

フウカ 年越しそばって初めてかもしれない

父 あそう、

フウカ なんてそば食べるんですかね、

父 一年の厄災を断ち切るんだよ、そば食って

フウカ へー、

間

テツ、缶ビールと缶酎ハイを何本か持ってくる。

テツ フウカさん「ほろよい」とかありますけど

フウカ あ、（ビールをとる）

テツ お、いいつすねー、（ビールを開ける）乾杯とか（しなくて）

いいよね、…あ、じゃあ一応、（フウカに）お疲れ様でーす

フウカ あ、お疲れ様でーす、（乾杯する）

ハナ、日本語を聞きたいものを探している。ミズエとチナツ、二人になる。

チナツ ミズエちゃん今年の抱負は？

ミズエ 今年の抱負、…なんだろ、…え、チナツちゃんは？

チナツ 私はね、…理想郷を、見つけることかな、

ミズエ 理想郷、…凄いな、

チナツ だからもつと色んなところ行く

ミズエ そうなんだ、ワールドワイドだね、

チナツ だって広いからね、どうやら、世界は、

ミズエ どうやらねー、凄いなー

チナツ 別に結構普通だよ多分、

ミズエ だって私ここ来たのもなんかネットで海外スペース安全って調べてだよ、…えー、今年の抱負かあ、

チナツ 今年の抱負
ミズエ 、、ちよつと考えておく

ジロウ、お湯の入ったケトルを持って来る。緑のためきにお湯を注ぐ。各々受け取り、蓋をして待つ。ジロウ、ケトルをキッチンに戻し、リビングに戻ってくる。

父 (テレビを見ながら) 紅白ももう全然面白くないね(チャンネル変える) : ジロウちゃん振られちゃった? 彼女に

テツ 振られたって

父 振られたの(笑)

ジロウ 振られてはないよ、

テツ もう帰ってこないんじゃないの

ジロウ そうかも

テツ 向こう楽しくなっちゃって

間

テツ : ジロウも行っちゃえばいいのに

父 あ、いいじゃん、行ってこい行ってこい、なあ、お前フラフラしてるよりよっぽどいいよ、

テツ ねえ、いいじゃん

ジロウ あー

間

父 : お前そんなバイトずつとやってるより海外とか行った方がお前のやってるようなことだったら絶対いいじゃん、本場のブロードウェイのミュージカル見てくるとかさ、スペインのさ、あれ、(フウカに) 誰だっけ、あの、、建築家、、ガウデイ! ガウデイも出てこない、、もう単語が出なくなっちゃって、嫌だなあ年取って、、:

: やースペイン良かったなあ、、新婚旅行で行ったんだ、、

間

テツ : 父さんに金だしてもらいなよ、出してくれるってよ
ジロウ や、いいよ、

父、、(テツに) お前そういうこと言うなよ、、いつまでも親に頼ってちゃしようがないんだから、、

テツ 冗談だよ、(ジロウに) なあ

父、、

間

父、テレビのチャンネルを変える。

テツ 、見てただけど

父 あそうなの?(チャンネル戻す) くだらないんだもん、

ハナ (リビングに来て) リモートコントローラー

ミズエ リモコン

ハナ リモコン、

以降、ハナ、ミズエ、チナツはリビングの中のもので翻訳を始める。家族たちが持つてるものをとったりしてもいい。家族たちは飽くまで三人は見えないで進める。

父 : : : (ジロウに) お前どうすんだこれから、、

ジロウ、、どうする、、

父 : 就職しちやえよもう、バイト先でもなんでもさあ、俺は心配でしようがないよ、、

テツ もういいじゃん、、久しぶりに帰ってきたんだからさあ、、

父 お前俺がどんな思いでさあ、、

テツ でもジロウ今ちよつと売れてきてんでしょ？

父 今さあ、脚本家とか大御所もみんな苦労してんだよ、俳優の、あれ、だれだっけ、、、最近しよつちゆう出てる、あのー、、、もう全然でてこない、、、あ、ムロなんとか、

テツとフウカ ムロツヨシ

父 ムロツヨシ！

ハナ ムロツヨシ？

チナツ 、、うん、

ハナ ムロツヨシー

父 あれもなんか、ほんと最近やつと食べるようになったとか言ってるさあ、（フウカに）知ってる？

テツ えーそうなんだ、でも食べてる人もいるんでしょ、

父 そんな一握りだよ、、、

テツ ……まあでも結婚しないんじゃないの、知らないけど、

ジロウ ……

父 もういいかなこれ（緑のためき）

フウカ ……あ、三分経ってます、

其々、緑のためきを開けて食べだす。

テツ やー、今年早かったなあ、、、…まあでも羨ましいよ俺は、

よくやつてるよジロウは、

ジロウ ……俺は兄ちゃんが羨ましいけどなあ

テツ 俺なんかなんもないぜ、意外と、就職したのもすりやあ父さんになんも言われないだろうからだしさあ、や、別に父さんのせいにしてるわけじゃないよ？別に無視してやりやあ良かったんだしさあ、

父 ……

テツ でもなんも見つかなかったんだよ俺は、だから俺はジロウ

は偉いと思ってるんだよ、見つけたから、

父 ……俺はだからさあ、若いころに本当苦労したからさあ、だからお前らにはちゃんとした大学出て就職してほしかったのね、でもジロウ大学行かせたのは未だ後悔してんだよ俺は、あの時就職しとくべきだったんだよ、働きながら好きなこととして、その方がよかったよ、

テツ まあそれは解らないけど、

間

チナツとミズエはいなくなっている。離れたところで見ている。
ハナはまだリビングにいる。

テツ 俺父さんのさ、教育に駄目だしがあつて、俺のこと叱る時さ、いつも「でもじゃない」って言ったじゃん、俺が「でも、」って反論しようとする「でもじゃない」って、それ言われるたび俺は黙ってじつとしてて、どうしたらいいだろうって考えてたのね、だって「でも」から俺の意見は始まるんだから、

父 ……だから俺はさあ、（笑）お前は昔から屁理屈ばっか言うタイプだったからさあ、そりや俺もそんな頭良くなかったかもしれないけどな、駄目なことは駄目っていうのをな、小さいうちから言つとかないとだなんて思ったんだよ、俺が苦労したから、

テツ まあそれは解るよ、ありがたいなって思ってますよ、おかげで僕はより（笑）姑息な人間になりましたよでも、

父 お前俺のせいにすんなよそんな

テツ まあそうですけどね、…まあ感謝しますよそれは、…父さんありがと。（肩叩いて）ありがとね、父さん、愛してるよ。…（フウカに）すいませんなんか、身内のごちゃごちゃした話して、

フウカ あ、いえ、むしろすいませんなんか、

テツ ……はああ、真面目な話ししちゃった、真面目でもないか、

間

ジロウとテツ、緑のためきを食べ終わる。

ハナ、突如ジロウとテツの母親になり、緑のためきを片付け始める。
フウカ、それを見る。

フウカ、

父（ハナに）あ、もういいや、（ためき渡す）

ハナ お茶入れる？…みんな飲む？

テツ 飲みます

ジロウ あ、大丈夫、

テツ（父に）チャンネル変えていいよ

父（チャンネルを変えて）面白いのやってねえなあ、（フウカに）見たいのある？

フウカ あ、や、特に

テツ 紅白にしとこ、

ハナ、お茶を入れて戻ってくる。父とテツに配り、フウカの膝の上
に座りテレビを見る。

父 ああ、あれ見てみる？ジロウちゃん好きなやつ、笑っちゃダメなやつ

テツ そうする？

ハナ ダメだよもう直ぐユーミンだから、

父 そうなの？…ユーミンも老けたよなあ、悲しくなっちゃうよ、

母さんなんかお菓子ないの

ハナ あ、チョコあるよ、
父 食べよっかな、……（ハナがとりに行かないので）ジロウちゃん
とってきて

ジロウ、取りに行く。

父 …（テツとハナに）だからお前らがもうちよつと言わなきゃなんだ

よ

テツ 何が？

父 だからジロウに、どうすんだって、俺が言っても聞かないから、
ハナ もういいじゃないそれは、折角家族揃って、こんな生きて
るうちにもうそんなにないよ

テツ 別にいいじゃんほっときやあさあ、もうそんな年でもないん
だから、全部一人でやってんでしょ？

父 馬鹿、保険とか俺が払ってんだから、

テツ …あ、何、（ハナに）まだ扶養外れてないの？

ハナ（頷く）

テツ それはあれだけど、

ジロウ、父たちの会話を離れたとこで聞いている。

父 俺もうたまに眠れなくなるよ、俺はもうずっと働いてさあ、
母さんはふらふら遊んで、

ハナ 遊んでるんじゃないから、（テツに）母さんもパートとか入
ろうかって言うと、いいとか言うくせに、ぐちぐちぐち言ってる、

あのね、あなたが、自分で忙しくしてんだからね、

父 よく言うよ、お前がなあ、

テツ もういいじゃんもういいじゃん父さんも母さんも自由にすれば
さあ、俺が稼いで、ジロウもいつか金持ちになるって、そし
たら父さん車買ってもらお、車。俺も買ってもらうから。ポルシェ
買ってくれるって。

ハナ そうよねえ、だって俺は土日も働いてんのか言ってる、自
分が毎日少ししか仕事しないで、ちゃんとこの日はいっぱい仕事し
てこの日は休んでっていう、時間を上手く使ってるねえ、やれば、

父 だからお前な、ただでさえ仕事減ってきて、不定期になっ
てるから、そんな休んでたらもう不安でどうにかならちやうど、

ハナ だから私も働こうかって、

父 …（テツとハナに）だからお前らがもうちよつと言わなきゃなんだ

父、突然英語で怒鳴りだす。

ハナ、それを見ながら立ち上がり、徐々に引いていく。

ハナ パパとママは、にほんごで、しゃべりました。パパは、おこると、えいご、しゃべりました。パパとママは、わたしには、ちゅうごくご、しゃべりました。わたしのいえは、みつつのことばが、ありました。チナツとミズエへえ：

ハナ パパの、おこった、えいごの、おと、が、わたしは、すごい、きらいでした。そのおとは、わたしにとって、ノイズでした。すこしも、ききたくありませんでした。

ジロウ …ごめん、お菓子どこにある？

ハナ いつもの戸棚のどこにあるでしょ

ジロウ ないから、

ハナ あるよー、

ハナとジロウ、キッチンの戸棚を見るがない。

ハナ あれ？

フウカ …あ、

フウカ、キッチンに行き、別の場所からお菓子をとり出す。ハナと

ジロウ、それを見る。フウカ、リビングに戻る。

テツ、リビングを離れる。

⑤ドライブ

チナツとミズエはいつの間にか車に乗っている。チナツが運転席、ミズエが助手席。ハナが後部座席に乗り込む。

チナツ よっしゃ、じゃあ行きますかー、

ミズエ はいーい（シートベルトセットしたり）

ハナ ゴー！

チナツ ナビお願いしまーす

ミズエ あ、はい、グーグルマップ！（スマホを弄る）

ハナ はつひので、どこでみるんですか

チナツ あー、しまの、東、イースト、一番端っこ、

ハナ はじっこ、

チナツ はし、イースト、エンド、

ハナ あー、

ミズエ …ちよつと待ってねー、

父 …なんかすいませんね、

フウカ え？

父 や、なんか、家族喧嘩みたいな、

フウカ ああ、…なんかびっくりした、

父 なんて？

フウカ なんか、お父さんだったから、

父 ああ、

ミズエ …あ、オッケー、

チナツ どれくらいかかるって？

ミズエ …三時間、半、

ハナ そんな、かかります？

チナツ よっしゃ、いこいこ、え、どっち？

ミズエ とりあえず右に出てまっすぐです

チナツ よっしゃー、行くかー、

車、動き出す。

チナツ …道暗っ、

ミズエ ね。ゆっくり行った方が、
チナツ ……なんか音楽かけて
ミズエ あ、はい、

ミズエ、スマホで音楽を流す。

チナツ お、いいね、

チナツ、歌ったり。

ジロウ、兄弟の部屋に行く。部屋には二段ベットがある。上の段に登り、ぼーっとする。
ジロウ、スマホでラインを見る。

テロップ「ジロウ…明けましておめでとございます！こっちも直ぐ追いつきます、」

「ミズエ…お先！」

「ジロウ…僕はいま月を見てます。」

「ミズエ…こっちも見えるよ。すごく丸い！」

ラインを遡る。テロップが下にスライドして次のテロップが出る。

ミズエもスマホを見ている。

「ジロウ…ハッピークリスマス！」

「ミズエ…ハッピークリスマス！」

「ジロウ…そっちはどうですか？こちらはそこら中に群がるカップルたち心やられて寂し死しそうです助けてください」

「ジロウ…暇つぶしに新宿なんか来なきやよかった」

「ミズエ…そうなんだ笑 こっちは寮でパーティして、チナちゃんも夜中の町に繰り出したものどこも店やってなくて徘徊してるよ。」

「ジロウ…笑」

「ミズエ…来年は一緒に過ごせたらいいね！」

遡る。

ここからは台詞でラインのやりとりが読み上げられる。会話してるというよりはスマホを見て読み上げてる感じ。

ジロウ (ライン) こんばんわ。今起きてたりしないよね

ミズエ 起きてた！どうかした？

ジロウ あ、ごめん！や、どうもしないんだけど笑

ジロウ 夜更かしですね！今そっち2時ぐらいでしょ

ミズエ うん、時間の感覚がバグってる笑 こっちって最近日が沈むのが21時くらいなのね。だから本当そんくらいから夜って感じがして。

ミズエ そっちは22時くらいか

ジロウ へー、不思議な感じやね。

チナツ めっちゃ山登ってる、

ミズエ 、あ、ね、

チナツ こわ、鹿とかでできそう、

ハナ しかみたい！

チナツ や、怖い怖い、

ミズエ 会いたいねでも、

ハナ しかせんべいってしかのにくのせんべいですか？

チナツ (笑)

ミズエ あ、違う、鹿が、食べる、

ハナ アー、ころしあい、

ミズエ あ、違う違う、人が、鹿に、あげる

ハナ アー、……あいたいですねー

ミズエ 鹿ね、会ってみたいね

チナツ ……この動物怖いんだよな、なんか警戒心というものがない

ミズエ あー、確かに。なんか鳥とか全然逃げないもんね、
チナツ そう、この前道にハリネズミがいて、手だしたらふっつーに
乗ってきたからね、ひよこひよこーって、馬鹿なんじゃないのって
思った

ハナ かわいいー
チナツ まあめちやくちや可愛かったけど

ミズエ、またスマホを見る。
フウカ、席を立ちうろろする。父はテレビを見続ける。

ミズエ (ライン) 私は将来のことが今とても心配です。ジロウはどう
考えてるのかな、電話する度弱音ばつかわれて、私は何を言ったらいい
のか解んなくなるよ。ずっと頑張れ大丈夫だよって言ってればいいだ
けなのかな。くだらないかもだけど私は周りの目とかがどうしても気に
なって、良く思われるように行動しなきゃって思っちゃうのね。両親に
も友達にも。ジロウからしたらくだらないって思うことなのかもしれない
けど、もしこのまま二人が一緒にいるのだとしたら一緒に考えてほし
いなって思うんだ。こんなこと言ってごめんね、何が正解とかわないの
けど。最近不安で怖くて眠れないです。

テツ、犬用のベットの所に行き、ライカを撫でたりする。

チナツ 寮の裏に、アルパカ飼ってるじゃん、二匹、あいつらもなん
か、私がおーいとか、わっ、とかやっても微動だにしないで、ずーっ
とこつちを、なんか、観察してて、逆に。あいつおもしろーな、ぐら
いの感じで見てて、

チナツ、しゃべりながら立ち上がり、車を離れている。

ハナ にはんはちがいますか
チナツ 全然違う、もっと、怖がられる、普通、

フウカ、テツに近づく。
チナツ、なんとなくそれを見る。

フウカ ……なんでライカっていうんですか
テツ はい、

フウカ カメラの、
テツ あ、あの一、宇宙犬って知ってます？ソ連の、

フウカ あ、いえ、
テツ なんか、実験で、ロケットに犬を乗せて飛ばしたっていう、

フウカ あ、はいはい、
テツ それにライカって名前の犬がいて、そのの、

フウカ へー、そうなんです、え、テツさんが付けられたんで
すか？

テツ や、父が、
フウカ あ、そうなんです、…意外とロマンチストですよ、

テツ そうっすよね(笑)

父、立ち上がり何となく歩き、ジロウの自転車を見つける。色々
見た後、乗って辺りをぐるぐるする。

ミズエ (ライン) 友達ができました。

ジロウ あらま
ミズエ (スマホで写真を撮る) チナツの写真。チナツちゃんです。
旅するダンサーです。

ジロウ へー、良かったですね！

ミズエ チナツの写真。(写真を撮る)

ミズエ チナツの写真。(写真を撮る)

ミズエ チナツの写真。(写真を撮る)

ジロウ ごめん今打合せ中

ミズエ 失礼、

フウカ なんか、黒い犬の写真もあったんですけど、
テツ あ、それはピットっていう犬で、もう死んじやったんですけど、
フウカ ピット、

テツ それはブラットピットからとったらしいんですけど、母さんが
フウカ (笑) …お母さんとは会ったりするんですか？

テツ まあたまに、
フウカ そうなんですけどね、

テツ …なんか今思い出したんですけど、俺ピットにめっちゃ嫌われ
てて、小学生のころ、(なんとなくチナツをピットに見立ててしや
べる)散歩とか行かされるんだけどめっちゃめっちゃリード引っ張られて、
俺も無理やり引っ張って散歩してて、散歩っていうか戦いだっただ
んですけど、で、俺一回リード放しちゃって、もうピットばあって逃げ
ちゃって、俺もうこのままいなくなっちゃうって思ってた半泣きで追
かけて、したら、ピットがすぐ先で止まって待ってて、俺それで
近づいてリード拾って、その時のピットの、じーっとこっち見てた目
を、なんか今でもたまに思い出すんですけど、

フウカは話の途中でその場を離れている。

テツ、リビングに戻る。

チナツもふらふらした後車に戻る。

ジロウ (ライン) 帰ってきたらどうするの？

ミズエ 普通に適当な会社に就職すると思うー

ジロウ あ、そうなんだ。じゃあんまりやりたいことできなくなるかも
ね

ミズエ そうなんだけどさー、やっぱり私は家庭を持ちたいって思うの
ね。結婚して子供作って。それは多分、今やりたいこととか、そういう
こととは比じゃないくらい大切なんだと思うのよね

ミズエ ジロウは子供とかほしいって思う？

ジロウ 俺解らないんだよねー、
ミズエ まあそうだよ、私もよくわからん。重い話してごめん

父、自転車を降りリビングに戻る。

ジロウ (ライン) 最近一気に寒くなって憂鬱です。木枯らしが吹い
たから紅葉ももう終わりっぽい。全然見なかったけど…

ミズエ そっか。寒いと人肌恋しくなるよね。

ミズエ なんかも最近、四季があるって良いなって感じるよ。こっちは
あんまり景色が変わらないからさ。夏の終わりとか、もう直ぐ春だ
なって感じとか、そういうのが愛おしく感じる。

ミズエ 今日ね、シギっていう渡り鳥を見たよ。こっちが寒くなるこ
ろに日本や中国の方に飛んでいくんだって。1万キロくらいの距離を
飛んでくんだって。

ミズエが流していた音楽が止む。

⑥ 回想

ジロウとミズエ、リビングの椅子に座る。

父 どんくらい行くの？

ミズエ あんまちゃんと決めてないんですけど、ビザが1年なんで、
父とテツ へー、

父 向こうで働いて、

ミズエ はい、

父 農場とかで

ミズエ 農場かはわからないですけど (笑)

父 へー、いいねえ、

テツ いいなあ、やー、でも、父さんね、ジロウが彼女連れてくる日が来るなんてね、

父 本当だよなあ、

テツ こいつのどこがいいんすか(笑)

父 なあ(笑)

テツ 失礼だったらすいませんなんですけど、結構変わり者ですか、

ミズエ あー、どうなんでしょう、でもちよつと、そうかも、

テツ すすよねえ(笑)

ミズエ 、、(笑)

ジロウ、席を立つ。

テツ あれ、どした、どこ行くの

ジロウ 洗い物するわ

テツ や、そんな絶対しなかったじゃん！(ミズエに)絶対してなかったよあんなこと

ミズエ あ、そうなんですね(笑)

父 …ミズエちゃんのご趣味はなんなんですか

ミズエ えー、趣味ですか、なんだろ、映画見たり、

父 へー、何見んの？

ミズエ なんですし、結構古い映画とか、

テツ へー

父 ローマの休日とか、

ミズエ あー、ローマの休日、

父 いいよねえ、オードリーがもう、本っ当綺麗でね、

ミズエ あ、そうですよね、

父 マイフェアレディとか、あ、パリの恋人ね、(テツに)見た？

テツ 全然見てない

父 綺麗なんだよなあ、

ミズエ 、、ちよつと、ローマの休日は見てないんですけど、

父 あ、見てないか、

ミズエ あの、小津安二郎とか、父 東京物語、

ミズエ あ、はい、

父 いいねえ渋いね、

ミズエ 、、東京物語は見れてないんですけど、

父 見てないのか、

テツ 凄いな、俺映画とか今マーベルくらいしか見ないわ

ミズエ 、、あ、でもちよつと今格好つけてるかも、

テツ あ、格好つけちゃった、マーベル最高じゃない、

ミズエ あ、面白いですよ、

テツ 面白いよねえ！え、誰が好き？俺キャップ派なんだけど

ミズエ え、誰だろう、ハルク、

テツ え、ハルク好きなの(笑)

ミズエ はい、格好良くないですか

テツ 格好いい、まあ格好いいけど、、変わってるねえやっぱ、

ミズエ 変わってますかね、

父 他に趣味とかあんの？

ミズエ えー、あ、でも最近登山とか、

父 お、登山するんだ、

ミズエ はい、最近、…でも全然あれなんですけど、

テツ (笑) 親父いつも一人で、後犬連れて寂しく登ってるから、

(父に)あれですね、いつか相手してもらえといいっすね、

ミズエ あ、お父さんも、登られるんですね、

父 そうそう、何、ジロウと行ってんの？

ミズエ ジロウくんとはまだで、あの、友達と二人で、

父 へー、女の子二人で、

ミズエ あ、はい、全然解んないから、装備とか適当なんですけど、

父 あ、そうなんだ、

父、立ち上がり去る。

車に乗ってるチナツがミズエに話しかける。

チナツ (ミズエに) これ道合ってるよねえ
ミズエ え、あ、うん、多分、(スマホ確認する)

チナツ めちゃくちゃ山登ってるけど、
ミズエ うん、大丈夫大丈夫、

チナツ : 眠くなってきた、
ミズエ なんかつかでお休憩する？

父、登山の装備をして戻ってくる。

父 (ミズエに) あ、いたいた、

ミズエ (席を立ち父の方へ) あ、お父さん、どうもですー、
父 どうもー、本当ジロウ来なかったんだ、

ミズエ そうですよねー、なんか仕事とか言って、
父 へー、

ジロウ、兄弟の部屋に行き二段ベットの下に寝っ転がる。
フウカが来る。

フウカ こんにちはわー、

父 あ、どうもー、
ミズエ あの、フウカさんです、大学のころの先輩で、
父 へー、

フウカ すいませんよろしくお願いしますー

父 あ、こちらこそー、: そしたら、軽く体伸ばしてから入りますか、
ミズエ あ、はい、

フウカ 凄いい、ちゃんとしてますね、
ミズエ そうですよね、いつも、もう直で、ゴーツて感じで、

父、アキレス腱を伸ばす。それを見習って二人も伸ばす。二人とも
上下に跳ねるようにして伸ばす。

父 それ、あんま跳ねないで、逆にやっちゃうから、
ミズエ あ、すいません、
フウカ すいません

ミズエはよく解らず跳ね続ける。

父 :、じゃ、行きますか、

三人、山に登りだす。

舞台上をぐるぐる回る。すれ違う俳優に挨拶する。

父 ペース大丈夫？

ミズエ あ、はい、
父 二人先歩いていいよ、
ミズエ あ、

父 自分のペースでいいから、

ミズエ はい、
父 : : : : : 気持ちいいねえ

フウカ 気持ちいいですね、
父 二人とも何、山好きなの、

ミズエ そうですよねえ、最初フウカさんが行こうって言って、
フウカ あ、そうですね、

父 へー、(フウカに) 山好きなんですか、
フウカ あ、でもそんな、なんかでも、やってみたいなーと、

父 都会のごちゃごちゃに疲れて、
フウカ あ、(笑) まあそんな感じですねー、

父 へー、いいですねえ、おいくつですか？
フウカ : : : 今年で30です、

父 そうなんだ、
フウカ : : : : : なんで登山好きなんですか？

父 あー、なんでだろ、、でもなんか、よく意味が解らないところなあ、

フウカ あー

ミズエ え、意味がわからないっていうのは、

父 だって登って、降りるんだからね、

ミズエ まあそうですね、

父 それ何回もやってるんだもん、

ミズエ やっぱ高いところがあったら、登らないとみたいな、

父 や、そんな男らしい感じでもない気がするんだけど、

フウカ でもなんか、瞑想みたいですね、

父 おー、

ミズエ あー、

父 瞑想、

フウカ なんか、無心になるじゃないですか、登山って。雑念を払うみたいなのがあるのかなとか、

父 確かにね、自然を感じて、、色即是空のクウを知るといふか、

フウカ はい、

父 確かに瞑想かもなあ、

ミズエ、いつの間にか車に戻っている。二人は歩き続ける。

フウカ ……ここ結構、道が凄いですね、

父 標高は低めだけど、前のとこより。コアなどだから、あんま整備されてないね、…あんま木の根っこのとこ踏まないようにした方がいいよ、

フウカ あ、はい、

父 ……ちよつと休憩

フウカ そうですね、

二人、腰掛けられるところに落ち着く。水分補給したり。

テツ、リビングからジロウのいる部屋に来る。

テツ 何してんだい

ジロウ ……

テツ ……懐かし、(部屋を物色する)

父、スマホで何かの写真を撮る。

フウカ ……なんて花ですか？

父 わかんない、俺そういうの全然解らないんだよね、後で調べてみよ、…鮮やかな青じゃない？

フウカ これ多分リンドウですね、

父 あ、リンドウね、詳しいね、

フウカ や、そんな解らないですけど、

チナツ 休憩

ミズエ そうしよ、

チナツ、車を止める。三人、車から降りて辺りを見る。

チナツ 大分上ったねえ、

ミズエ うん

ハナ ……どうぶつ、いませんかねえ(探す)

ミズエ あー、ちよつと暗いからなあ、

テツ やー、今年長かったなあ、

ジロウ さつき早かったって言ってたじゃん

テツ あそうだっけ(笑) ……フウカさんどう思う？

ジロウ あー、

テツ ……ましてやあなた、あれでしょ？彼女の、友達なんでしよ、フウカさん、

ジロウ まあね(笑)

テツ 嫌じゃない?なんか、

ジロウ あ、でも俺は会ったことなかったし、

テツ まあそっか、

ジロウ : 気持ち悪くはあるけどねなんか、

テツ ねえ、

ジロウ 父さんが、

テツ そうだよね、よおやるよな、……俺なんか今すげえ思い出したんだけどさ、俺らが小学生くらいのころ、俺とジロウで、なんか夜さ、父さんがここで(ベットの一段目)裸で、背中向きでベットの上にあぐらかいてて、覚えてる?

ジロウ なんだっけ、

テツ なんかそれで、その背中のまま、父さんね、実は、狸だったんだよ、ぼんぼこぼん、ぼんぼこぼん、とさかい出して、

ジロウ あー、なんか、

テツ あったよねえ、めっちゃ怖くて、俺ら大泣きして、

ジロウ 父さん、母さんにめっちゃ怒られてて、

テツ あ、そうだ、怒られてた(笑) : 懐かしー、色々あったわ、

チナツ わー、夜景が、

ミズエ あー、綺麗だね、

チナツ あれ私たちがいたところ?

ミズエ 多分、

ハナ ……(夜景を指さし) ほし、

ミズエ 、あ、確かに、

ハナ あまのがわー

ミズエ あー、

チナツ 本当だ

三人、暫く見ている。

フウカ : あのお、なんで離婚なされたんですか?
父 : なんてだろうなあ、

間

父 : なんだか、僕は、多分よくわからないまま、解ってる気だけで、はつきりわからないまま、家族っていうのを作って、なんか本当に情けないけど、解ってなかったってことに、気付いたっていうか、……や、ずっと気付いてただけど、色んなことを見ないふりをして、というか、言い訳にして、やってきたっていうか、……ごめんなんかやたら抽象的なこと言ってるけど、

フウカ あ、いえ、

父 まあ色々あったっていうか、僕は凄く未熟で、でもちゃんとしてるふりをして、子供たちにも、いっぱしの父親のふりして、まあみんなそうやって頑張ってるんだろうけど、なんだろ、いつの間にか僕は、こんなとこまで来てて、ふと、ここはどこだろうって思っ、ふとここはどこだろうって思っ、何を言ってるんだろうね、すいませんこんな辛気臭い、

フウカ いえいえ、なんか、聞けて凄く良かったです。

父 あ、本当ですか、ありがとうございます、

チナツ 行くかそろそろ、

ミズエ そうだね、

三人、車に戻る。

チナツ 後どんくらい?

ミズエ : 半分くらい、

チナツ これ日の出見たらちよつと車で寝てこ

ミズエ あ、そうだね、……ハナちゃん、眠かったら寝てもいいから

ね、

ハナ あ、ありがとうございます

チナツ …じゃあ行くかー、（出発する）

フウカ …行きますか？そろそろ、

父 あ、そうね、

二人、歩きだす。リビングの周りを歩く。

フウカ …私、家族って言える人が殆どいないんですよ、

父 あ、そうなんだ、

フウカ 両親が小さいころ離婚してて。色々あって母ともそんな打ち解けた仲ではないので、

父 あ、そうなんだね、

フウカ あ、別に、そんな気にしてないので全然あれなんですけど、なんかだから、そういうことに対して嫌悪感というか、そういうのはないっていうか、

父 …や、僕も全然、そっか、

フウカ すいませんなんか、辛気臭い話で、

父 や、僕の方からだからそれは、

間

ジロウ （ライン）僕は家族に多分、一度も、自分の真意というか、心から思ってることを、伝えられていないように思う。だから僕はミズエさんにこうやって長文のラインとか送ってしまうんだと思う。

テツ、父とフウカと反対周りで歩き出す。ジロウ、それに付いていく。テツ、段々速足になるがジロウもびったりついていく。

テツ ……（止まって）だからこれから友達に会うから、

ジロウ 俺も行く

テツ ダメだっつってんじやん

ジロウ 別についてくだけだから

テツ ついてきてほしくない

ジロウ わかった

テツ、歩き出す。ジロウ、追いかける。

テツ ついてきてんじやん

ジロウ …、いいじゃん

テツ 友達に会うんだって

ジロウ 俺も行きたい

テツ 駄目だって言ってるじゃん

ジロウ なんだ

テツ マジでもうくんやよ、来たら殴るから

ジロウ やだ、

テツ、歩き出す。ジロウ、追いかける。

テツ、止まりジロウを殴ろうとする。ジロウは逃げる。

テツ、走る。ジロウ追いかける。テツ、本気で走る。ジロウは追いつけなくなり止まる。うづくまる。

テツは部屋に戻り、置いてあったギターを拾いベットのの上に登って弾きだす。

父、ジロウに近づく。フウカは離れてそれを見ている。

父 どうかした、大丈夫か、

ジロウ （泣いてる）、…、兄ちゃんがあ、友達と、…、

父 友達と…行っちゃった？

ジロウ、（頷く）

父 ……じゃあ父さんと動物園行こうか

ジロウと父、歩き出す。

⑦不穩

ハナ どうぶついませんね、
ミズエ あ、そうだね、……私ね、この間、海のほうで、シギついで、
う鳥を見たよ、
ハナ シギ？

ミズエ そうそう、シギっていう、鳥。あのー、日本と、中国と、ここ、
を飛んで、渡ってる、
ハナ オー、そういうとりがいるんですね

ミズエ うん、そうみたい、
ハナ とりはとても、好きです

ミズエ あ、私も好き、

ハナ とりは、にげるために、とぶ、えらびました、
ミズエ 、、

ハナ ここ、には、とぶ、やめたとりも、いっぱい、います
ミズエ ……あ、そうだね、

ジロウ、ベットの下の段に寝っ転がりテツのギターを聞いている
フウカ、リビングに戻る。父も登山の装備を外し、リビングへ。

フウカ 明日私行った方がいいかな、
父 え？

フウカ お兄さん家、
父 ……ああ、どつちでも、

フウカ ……これからどうします？
父 これから？

フウカ 私たちは、

父 ……この先ってこと？……、どうする、、どうするんだろう
ね、、…どうしたい？
フウカ ……わかんない、
父 ……俺もう30年も生きらんないだろうしね
フウカ ……

間

チナツ ……この道大丈夫？なんかめっちゃ森の中入ってってるけど、
ミズエ ……(スマホ確認して)一応、ナビ通りではあるけど、
チナツ ……こわ、…道が、もう山道だもんこれ、
ミズエ 引き返す？

チナツ あー、……ほかに道なかったもんね、
ミズエ うん、ずっと一本道

チナツ じゃあいいか、合ってるんだもんね、

ミズエ うん、大丈夫、

チナツ 対向車来たら終わるなこれ、まあ来ないか、
ハナ すごい、ゆれますね

チナツ うん、ごめんねー、道が、
ハナ ローラーコースターみたい
チナツ これバンパーに傷つかないといいけど、

テツのスマホに着信。出て、なにやら喋りながら部屋を出てく。

フウカ 私、子どもが欲しいと思ってる、
父 ……あそつか、

間

父 え、それは、僕にとってこと？

フウカ ……うーん、…そうだとしたら、…どう思いますか？

父 ……、どう、……ちなみに、ちなみにというか、どうして、

まあどうしてもないと思うけど、

フウカ 子どもが欲しいかかってこと？

父 ……、まあ、うん、

フウカ ……多分、私は、…自分の、家族が欲しいんだと思う、

父 ……そっか、

チナツ ……なんか、木がどんどん、

ミズエ ……、覆いかぶさってきてる、

ハナ ……とんねる

チナツ うん、トンネルみたい、……暗、

ミズエ うん、先が、……（スマホ見て）ちよつと電波が、

チナツ 電波悪い？

ミズエ うん、でもずっとまつすぐだったから

フウカ この家に来れば、……もしかしたら、……って思ったんだけど、……なんか、やっぱ、違うんだろうな……っていうか、

父 ……うん

フウカ や、解らないけど、……やっぱ私は、……自分の子どもが、……欲しいなって思いました。……思ってしまった。

父 ……、そっか、

フウカ もちろん、押し付けようって気はないので、……あれだったら、……ここを出てこうと思ってます、

父 ……

フウカ ……ここを出ていこうと思っています。

間

父 ……子どもは、……ちよつと、……解らない、……今は、

フウカ ……そうですよねそれは、……

父 ………え、でも、……なあ、

フウカ ……

父 ……や、好きなんですよ、……凄く、……それは、

フウカ ……、急に、……

父 ……や、それは本当、……本当、好きっていうのは、……あつて、……これは本当、……多分、

フウカ ……多分（笑）

父 ……や、多分っていうか、……や、好きです、……好き、

フウカ ……、あ、どうも、……

父 ……ていうのは、……僕も、……長く生きてきたんで、……解る。……自分の気持ちとか、………愛はある、……あなたに、……それは、……確信してる、……

フウカ ……、はい、

父 ……だから、……出てっつては、……欲しくない、……、……っつて思ってます、

フウカ ……、でも子どもは嫌ってことですよね

父 ……嫌とは言っていない、……だからそれは、……考える、

フウカ ……でも嫌ってことですよねそれは

父 ……嫌っていうか、……そんな、……パつて決められるものではないから、……

フウカ ……、

父 ……や、俺だつてね、……そりや、……今だったら、……もつとうまくやれんじやないかなとか、……考えますよ、……でも、……簡単には、……決めないようにしようつて、……や、……そりやあ前も簡単に決めたわけではないけど、……

……え、僕との、……子どもが欲しい、……

フウカ ……、……解んないそれは、

父 ……解んない、

フウカ ……解んないけど、……子どもは、……欲しいって思つて、……それは凄く、……でも……解いたら、……相手とかもつと若い人の……がいいのかなとかは思……うけど、……そんな、……私は全然男性と上手く……いったことないし、……これか……らそういう人に巡り合えるかなんてわかんないし、

父 ……、……それなんか俺のこと全然見て……なくない？

フウカ ……、はい？

父 ……や、……なんかそれ周りのことばつ……かじゃ……ないですか？

フウカ ……、はい？

フウカ や、私は現実的なことを話したくて、だから、作るとしたら、三十前半には子ども作らないとって思ってた、もし、仮にあなたとつてなったら不妊の可能性もあるから、早めに検査とか、

父 や、俺不妊じゃないから、

フウカ でもわからないから、

父 不妊じゃないから、

フウカ 検査とかしたの？

父 してないけど、種あるから、

フウカ 何その拘りは、や、解らないから、

テツ、リビングに来る。椅子に座ってテレビを見る。二人、話を止める。

間

父 ……(フウカに) まあちよつと考えるから、

フウカ ……

ミズエ ……あ、でもちよつと道が、

チナツ うん、穏やか……なんか音楽かけて

ミズエ あ、はい、

ミズエ、音楽をかける。チナツ、それに軽くのったりしながら走る。

チナツ あ

ミズエ あぶな、

ハナ、

何かがぶつかった音がする。チナツ、車を止める。

間

チナツ ……今轢いた？

ミズエ ……なんか、

チナツ ……え、なに？

ミズエ や、わかんない、なんかでも、物じゃないかな、

ハナ (フロントガラスを指さし) 血、

チナツ ……うわー、

ハナ、車を降りて見に行く。ミズエも降りてついていく。

ハナ ……ひかり

ミズエ あ、うん、(スマホのライトを付ける)

二人、何かを見つけて止まる。

チナツ ……え、何ー？

ハナ 血

チナツ え？

ミズエ あの一、血の、跡があつて、(ライトで辿る) 森の方に

続いている。

チナツ そつかあ、

ハナ、血を辿って森の中へ入っていく。

ミズエ え、行くの？ちよ、(付いてく。チナツに) ちよつと見て

くる、

チナツ え、いいよお、

少し迷ってチナツも追いかける。

三人、森の中を歩く。

チナツ ちよつと、ハナちゃん、……なんか、霧が出てきた、

ミズエ うん、でも月明りで結構明るいね

チナツ …てか熊とかいるかもじゃない、？
ミズエ あ、でも熊はいないみたいだよ

チナツ そうなんだ

ミズエ 人を襲う動物はほとんどいないって

チナツ へー、え、でも危なくない、

ミズエ あんま遠くはね、行かない方がね

ハナ、立ち止まり、何かを指さす。

チナツ 何々、

ミズエ 、、あ、なんか、なんだ？

ハナ しり

ミズエ うん、お尻が、なんかの、

チナツ え、何あれ、

ハナ あ、

ミズエ あ、行っちゃった、

何かが逃げる。ハナ、それを追いかける。二人も続く。

チナツ ちよ、、いいよもう、、

ハナ、立ち止まる。目の前に洞窟がある。

ミズエ わ、、凄い、、チナっちゃん洞窟がある、

チナツ え、洞窟？、、うーわ、、

間

チナツ え、もう戻ろうよ、

ミズエ うん、そうね、ハナちゃんもう戻る、

ハナ (足元指さして) 血。………わたしたちがやった

チナツ 、、や、そうだけど、しよがなかつたよだつて、
ミズエ うん、
ハナ …くるま、いてください

ハナ、一人で行こうとする。

ハナ、、(スマホ指して) それください

ミズエ 、、チナっちゃん車にいて

チナツ いいよ行くよ私も、

⑧ 洞窟

三人、洞窟に入る。水滴の音が聞こえる。

ハナ ひとりでいきます

ミズエ …ひえー、寒、

チナツ え、結構奥ある？

ミズエ そうだね、

ハナ、、

チナツ さむつ、、こわあ、、ちよ、ゆっくり行こ、

ミズエ うん、ハナちゃんも、ゆっくり、

三人、くっついて進む。

チナツ うん、これで行ここれで、

ミズエ うん、

ハナ あるきずらい、

ミズエ …ハナちゃん、見つけたらどうするでも、

ハナ アー、おいしやさん、

ミズエ あー、あるかな、近く、
チナツ あつてもやつてないでしょ、
ミズエ なんか、急患見てくれるようなところあるんじゃないかな探せば、
チナツ シテイの方行けばありそうだけど、、え、そこまでの、？

ミズエ わかんないけど、
ハナ あるきずらい、、
ミズエ ちよつと距離とる？

チナツ や、このまま行こう、、……（地面に何か見つけて）、ん？
ちよつと待った、ストップ、、（よく見て）、、ヤー、ネズミ！

ミズエ え、え、
チナツ ネズミ、、
ミズエ ネズミ？どれ、
チナツ そこ、

ミズエ あ、本当だ、、え、これネズミ？

チナツ わかんない、

ミズエ 、、、これコウモリだ、、大丈夫だチナつちゃん、ネズミじゃ
なくてコウモリだよ、

チナツ や、どっちでもあれだけど、、

ハナ たくさんいます

ミズエ え、（ライトで地面を照らす）わあ、めっちゃいる、

チナツ えー、最悪、、

ミズエ チナつちゃん、見てこれ、、

チナツ 見ない見ない、

ミズエ （天井を照らして）、、なんでこんな、皆地面にいるんだろ、
ぶら下がってるのがない

ハナ このこうもり、とぶ、やめたって。ききました

ミズエ あ、そうなんだ、、……（正面にライト当てて）行き止まりだ
ね、

ハナ、一人で辺りを探す。

ミズエ （チナツに）ちよつとここいて、
チナツ え、、あ、はい、

ミズエも辺りを探す。チナツはその場にしゃがみ込み待っている。

チナツ 、、、何してんだ私たち、、
ミズエ え？

チナツ こんな、海の果ての、どっかわかんない山の中の、、洞穴
の中で、、元日に、、誰にも知られず、、何やってんだ私たちは、、

ミズエ うん、、凄いな、
チナツ 去年は実家で、ジャニーズのコンサートとか見てたのに、、
まさか今年こうなるとは思わなかったわ、、

ミズエ ……

チナツ 違う道にすれば良かった。

ミズエ え？

チナツ こんな山ん中通らなきゃ良かったね、
ミズエ でもこの道しかなかったよ、

ミズエ、その場を離れる。

テツ 父さん、俺子どもできたわ

間

父 ……おお、、そっか、

テツ うん、

父 ……そんな突然、

テツ や、、今電話来て、

父 あ、そうなんだ、、

フウカ あ、おめでとうございます

テツ あ、どうも、
父 ……

テツ ……、あ、そんな感じ？
父 あ、いや、おめでとう、

テツ ……、ありがとうございます、
フウカ ……どんな気持ちですか？

テツ ……、あ、そんな感じ、
フウカ ……、あ、そんな感じ、
テツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
フウカ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
フウカ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
フウカ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
フウカ ……、あ、そんな感じ、

テツ、外に出てタバコを吸う。フラフラとチナツの近くに来る。チナツはテツに気づく。

チナツ ……、あ、そんな感じ、
テツ ……、あ、そんな感じ、

チナツ ……、あ、そんな感じ、
テツ ……、あ、そんな感じ、

チナツ ……、あ、そんな感じ、
テツ ……、あ、そんな感じ、

チナツ ……、あ、そんな感じ、
テツ ……、あ、そんな感じ、

間

チナツ ……、あ、そんな感じ、
テツ ……、あ、そんな感じ、

テツ あー、そうですね、なんかマンションがめっちゃできて、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

間

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

テツ ……、あ、そんな感じ、
チナツ ……、あ、そんな感じ、

間

チナツ さむ、
テツ 寒いっすね今夜、……え、何してらっしやったんですか？、
なんか、しやがんで、
チナツ や、何も、なんか、居づらくて、
テツ 家に、
チナツ はい、
テツ わかるー、居づらいつすよねなんか、
チナツ そうですな、
テツ え、家どこっすか、
チナツ (指さす) ところです、
テツ え、(指さす) 俺そこ
チナツ 近、
テツ ね(笑)
チナツ へー
テツ なんかどつかで会ってるかもつすねそしたら
チナツ あー、確かに、
テツ ……え、普段何なさってる方なんですか？
チナツ 普段、
テツ 何も(笑)、何もしてないんですか、
チナツ まあこれといって、人に話せるようなことは、
テツ あー、
チナツ あの一、踊ったりしてます、
テツ めちゃ陽気じゃないっすか、
チナツ はい、あ、来年から海外に行きます、
テツ え、そうなんですな、留学とかですか、
チナツ や、まあ、ふらふらと、
テツ 自分探しですか、
チナツ (笑) 自分探しというか、まあ、

テツ へーいいなあ、どこ行くんですか？
チナツ なんか、色々、
テツ あー色んなところ行くんだー、いいなあ、……なんか俺子どもができたっぼいんですよ、
チナツ あ、そうなんですな、おめでとうございます、
テツ あ、どうも、
チナツ あー、そうなんですか、

間

テツ 結構ずつと行かれるんですか？
チナツ や、特に決めてないんですけど、
テツ へー、来年の大晦日は、向こうですか
チナツ あー、どうなんだろう、多分でもそうかな、
テツ そうなんだ、……じゃあまたいつか、こんな感じで会ったらいっすね、
チナツ あ、そうですね、確かに、でももう暫く実家には帰んないかもですね、
テツ あ、そうなんだ、……じゃあもう一生会わないかもですね、
チナツ そうかもですね、(笑)
テツ 今生の別れだ、
チナツ (笑)

間

テツ ……じゃあ、
チナツ はい、……またどこかで、
テツ 、あ、はい、また、どこかで、さようならー、
テツ、去る。チナツ、一人でボーっとする。

て、その、ながれのおとが、うるさくて、そのおとが、わたしは、いやでした、、、うるさーい

川の音が止まる。父もぼんぼこをやめる。

父、ごめん、

父、上着を着る。

ジロウ 覚えてるに、父が、父なりにした、俺と兄ちゃんにした、あやすようなこと、っていうのは、これが最後だった気がする。

父、リビングに戻る。ジロウ、ベットに寝っ転がる。

チナツ えー、まじどこいったの、

ハナ、何かを見つけて立ち止まっている。チナツ、気付いてハナの近くに行く。ハナは何かを指さす。

チナツ あ、…え、死んでる?…なんだろうこれ、

ハナ わからない

チナツ、、、ごめんねー、、、

ハナ、、、ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい、

チナツ、、、

二人、暫く見ている。

テツ、ジロウの部屋に行く。

テツ ……おい、おい、寝てんの?…もう直ぐ年明けよ、

テツ、ベットに腰掛けてボーっとする。
ハナ、落ちていた布団にもぐり、丸くなる。

父 いつの間にかこんなとこに来たのな、

フウカ え

父 ……テツに子どもができたって、…いつの間にか、こんなとこまで来たのな、

フウカ ……うん、

父 そっか、…、凄いな、

フウカ ……うん、

父 (立ち上がり) ちょっと散歩、

フウカ あ、はい、

父、ふらふら歩く。

ジロウ、起きる。ミズエの方に行き、肩をゆする。

ジロウ ……ちょっと散歩しない?

ミズエ うん、…え、もうちょっと寝たい、

ジロウ ……ちょっと目覚めちゃったから、

ミズエ えー、…眠い

ミズエ、立ち上がり、二人で歩きだす。

ミズエ え、どこ行くの?

ジロウ ちょっと外、

ミズエ え、外でれるの?

ジロウ うん、え?

ミズエ ……あ、や、

ジロウ ……寂しいですね、

ミズエ え?

ジロウ や、…会えなくなるの、

ミズエ ああ、そうだね、まあでも電話とかできるから、
ジロウ そうだけど、やー、寂しいでしょ、
ミズエ あー、なんかでもそんな実感わかないかも
ジロウ あ、本当？

ミズエ うん、たぶん一か月くらいしてから寂しくなるのかなあ、
ジロウ あ、そうなんだ、僕もう今泣きそうですけど、

ミズエ あ、そうなんだ、ごめんねなんか、

ジロウ 、、兄貴がめっちゃや、向こうで別の男作るよとか言って、

ミズエ あー(笑)、え、そうだったらどうする？

ジロウ えー、死んでしまふ、

ミズエ 死なないでよ、

ジロウ 、、(笑) まあでも、ミズエさんが、それが必要だったってなつ

てそうなるなら仕方ないけどね、

ミズエ え、いいのじゃあ、

ジロウ まあ、仕方ない、死ぬけど。

ミズエ (笑)

二人、外に出る。

ミズエ わ、明る！、朝やん、

ジロウ え、夜じゃん、めっちゃ暗いじゃん、

ミズエ え、陽が昇りそうだよだって、

ジロウ 、、え？

ミズエ 、、え？……あー、まあいいや、

ジロウ うん、

二人、空を見ている。

ジロウ ……オリオン座が凄く綺麗だわ、

ミズエ あー、こっちからも見えたよ

ジロウ あ、そうなんだ、

ミズエ うん、凄く綺麗だった。

ジロウ 俺オリオン座しかわからないんだよね、星座、

ミズエ あ、私も、

ジロウ あ、そうなんだ、

ミズエ こういう、夜と朝のさ、間の、この感じてなんていうん

だろう、

ジロウ あー、逆マジックアワー、

ミズエ そういうの？

ジロウ 知らない、

ミズエ 何色なんだろこれ、……肌色なのかなあ、

ジロウ あー、……ミズエさんさ、帰ってきたらさ、一緒に暮

らさないかい？

ミズエ あー、そうだね、……その時の状況しだいかな、

ジロウ まあそうだよね、

ミズエ うん、

ジロウ どうなるかわかんないもんね、

ミズエ 、、でもそうだったらいいね、

ジロウ うん、

テツ、リビングに戻ってくる。

テツ やー、もう年明けちゃいますね、

フウカ そうですね、

テツ 、、え、フウカさんは今年の抱負とかあったんすか？

フウカ 今年の、なんかあったかな、テツさんはありました？

テツ 転職、って言ってた気がしますねなんか、

フウカ あー、

テツ なんかでも途中で変わりましたけどね、貯金する、に、

フウカ ああ(笑)

テツ あんまできなかつたなあ、来年こそは、

フウカ ……私の抱負は、なんかでも沢山ありましたね、シエア

ハウスする、とか、北海道で流水見る、とか、小笠原諸島に行く、とか、仕事辞める、とか、

テツ あー、

フウカ ちゃんと料理するとか、スキーに行くとか、泣かないようにするとか、キャンプするとか、めっちゃ本読むとか、

テツ 、、めっちゃあるじゃないすか、

フウカ めっちゃありましたね、

テツ …それは、クリアできたんすか、

フウカ や、一つも、

テツ あらま、

フウカ まあ、でもね、

テツ じゃあ来年の抱負は、

フウカ 来年の抱負、…なんだろ、

テツ 僕はもう明快ですね。良い家庭を築く！一本！

フウカ あー、それは、とてもいいですね

テツ もうやるしかないんでね、これは、

フウカ 、、じゃあ私も、それを願っています。

テツ 、、いやいや、自分のやつをしっかり持ち持ちなさいよ、

フウカ や、私はなんでもいいんですよ、私なんかは、

テツ そんなこと言っ、

⑩年明け

一人佇むミズエのところにチナツが来る。

チナツ え？、ちよ、いんじゃない、どこいたのマジ、

ミズエ どこいたんだらう、良かったあ、や、なんか、

チナツ ちゃん？

チナツ 車で寝てる。

ミズエ え、そっか、

チナツ 、、え、めっちゃ焦ったんだけど、

ミズエ ごめん、…もう陽昇っちゃうね、

チナツ 、、そうだねえ、

二人、近くに腰掛け空を見ている。

父がジロウのところに来る。

父 何してんの、

ジロウ ああ、何も、

父 …(自転車指して)あれライト付かないの？

ジロウ ああ、電池切れてて、

父 電池切れててじゃないよ、お前今自転車の事故が一番多いんだからさあ、俺も車で走ってて本当危ないもん、無灯火の自転車が、

ジロウ つけるよ後で、

父 お前本当さあ、もうちょっと社会性を持てよ、心配でしょうがないよもう、

ジロウ ああ、

父、家に入る。ジロウも続く。二人、リビングへ。

テツ あら、どうしたんすか、男同士の語らいつたんすか、

父 してねえよ、

テツ 、、もう二分前ですよ、新年まで、

ジロウ あ、もうそんななんだ、

チナツ わー昇ってきた、

ミズエ ね、めっちゃ綺麗やん、

チナツ これはエモいわ、

ミズエ うん、

チナツ、立ち上がり伸びをする。

チナツ よっしやー！今年も頑張るぞー！、

ミズエ そうだねー、

チナツ ……あ、ミズエちゃん、今年の抱負決まった？

ミズエ あー、そうだね、…：…：…：ずっと笑ってられたらいいなあ、

チナツ 、、そうだねえ、ずっと笑ってたいね、

テツ よっしや、、じゃあみんなでジャンプして年越そうぜ、

テツ以外の皆、顔を見合わせたり。

テツ やるからね、ほら、立って、

父 あーでもなんか昔やったなあ、母さんに言われて、

テツ ねえ、やったよねえ、やりましょうまた、折角だから、ほ

ら、ジロウ立って、（ジロウとフウカ、立つ）ほら、父さんも、

父 いいよ俺は、

テツ ダメだよ、ちよっと、フウカさん言ってくださいよ

フウカ やりましょう、

テツ おー、いいねえ、フウカさん、

父 マジで？

テツ マジマジ、よっしや、じゃあ俺せーのって言うから、…：…

よっしやー、…：ジロウ来年の抱負は？

ジロウ 来年、えー、

テツ あ、間もなくです、5、4、3、2、、せーの、

皆、同時に飛ぶ。幾つもの汽笛の音が鳴り響く。ハナが驚いて起きる。

ハナ ……今のが、夢だったのか、どうかもよくわからない。どっかで誰

かとお会ってたような、誰かの家族の中にいたような、ただ私は、ずっとこの布団の中にいたっていう事実はあって、。世の中には時間というやつがどうやらあって、一日とか、一年とか、そういう、区切りになつてくるようなことがあって、それに合わせて、始めたり、終えたりをしているわけだけど、私は知っている。実はその区切りとか、境目のようなのは、存在しなくて。それは私たちが都合よく作ったもので。ただ確かに、太陽は沈んでまた昇るから、夜や朝というものはあるのだ。私が今目覚めた時間より数時間前に、いわゆる、お勤めなさってる人たちは目を覚まし、身支度をして家を出て行った。私は長い間この布団の中にいたような気がする。このなんてことのない昼下がり、私は、私の都合よきように、今、新しく始めてみようと思う。

テロップ

「ミズエ…明けておめでとう！今年もよろしくお願いします！」
ミズエ 今私が見てるこの太陽は、後何時間後に、ジロウくんの下に昇るんだろうな、

音楽。
幕。